

平成 22 年度 第 15 回

音の匠

平成 22 年 12 月 6 日

東京 湯島 東京ガーデンパレス「天空」

澤 登 翠 (さわとみどり) 氏 (活動弁士)



プロフィール

東京都出身 法政大学文学部哲学科卒業。故松田春翠門下。
日本を代表する弁士として国内はもとよりフランス、アメリカ他の海外公演を通じて、“弁士”の存在をアピールし高い評価を得ている。「伝統話芸・活弁」の継承者として“活弁”を現代のエンターテインメントとしてよみがえらせ文化庁芸術祭優秀賞他数々の賞を受賞している。的確な作品解釈による多彩な語り口でいままでに 500 本以上の様々なジャンルの無声映画の活弁を努めている。

主な受賞履歴

2002 平成 14 年度文化庁芸術祭優秀賞 (演芸部門) 受賞
2000 第 21 回山路ふみ子文化財団特別賞受賞
1995 日本映画批評家大賞ゴールデン・グローリー賞受賞
1990 日本映画ペンクラブ賞受賞
著書のご紹介: 「活動弁士 世界を駆ける」(東京新聞出版局 2002 年)
ホームページ <http://sawatomidori.com/afternoon.html>



「音の日」と「音の匠」

(社)日本オーディオ協会は、音楽・オーディオレコード・放送など「音」の文化について多くの人々に認識していただき、オーディオ文化と産業の発展のために、(社)日本レコード協会、(社)日本音楽スタジオ協会などと協調して、1994年に12月6日を「音の日」と決めました。この12月6日は、かの発明王トーマス・エジソンが1877年、世界で初めて蓄音機「フォノグラフ」を発明した日であり、音の記録と再生の文化を生んだオーディオの誕生日ということになります。

当協会ではこの「音の日」にちなみ1996年より、音を通じて私たちの暮らしに関わり、社会に貢献しておられる方々を「音の匠」として顕彰しています。

本年度は伝統ある無声映画の世界で永年にわたり伝統話芸・活動弁士の継承者として音の原点である肉声による声色を多彩な語り口で人々に感動を与える活動を続けてこられた澤登翠氏を「音の匠」として顕彰します。

社団法人 日本オーディオ協会 会長 校條 亮治

「2010 音の日」実行委員会

(委員長) 森 芳久 (委員) 君塚 雅憲、倉持 誠一、澤田 龍一、鈴木 順三
畑 陽一郎、横田 堯、渡辺 隆志、柚賀 哲夫